

EAAがゼロトラスト・モデルとクラウド移行を牽引 18万ユーザー、600以上のアプリにEAAを展開中



世界150カ国以上の国と地域でビジネスを行うグローバル企業

株式会社LIXILは、2011年に国内の主要な建材・住宅設備メーカー5社が合併して誕生。以後、GROHE、American Standardといった世界的ブランドを傘下におさめ、日本のものづくりの伝統を礎に世界をリードする技術やイノベーションで、日々の暮らしの課題を解決する高品質な製品を幅広く提供している。世界150カ国以上の国と地域でビジネスを行うグローバル企業となった現在、毎日10億人以上の人々がLIXIL製品を愛用する。

「当社の主な製品は、ドアやサッシ、住宅エクステリアなどの『金属商品』と、トイレや浴室、キッチンといった『水まわり商品』の2つのカテゴリーがあります。我々のビジョンはこうした製品を通じ、世界中の人々の暮らしをより良いものにしていくことです。」と理事 IT部門 デジタルテクノロジーセンター センター長 情報セキュリティ責任者の安井 卓氏は語る。

LIXILのITインフラが抱える課題

同社のサプライチェーンは一般的な製造業以上に複雑だ。それは、製品である建材・住宅設備は販売してすぐに使えるものではなく、設置業者による設置・施工が必要なものが大半だからだ。しかも、それぞれの建物や好みにあった形にカスタマイズするのが一般的なため、発注形態はかなり複雑となる。同社はこうした発注形態に合わせ、見積りや受発注などのシステム化・デジタル化を早くから推進。これが企業の成長にも大きく貢献している。

こうしたシステムでの業務が中心になった一方、システムの多くが個々に構築されたため、社内外のUI・UXは一貫性がなく、スマートフォンやタブレットなどモバイルへの対応も遅れ気味だった。さらに、働き方改革に合わせ、会社の業務体制は家やカフェなど、どこでも働ける仕組みに変化したため、理事 基幹システム統括部 統括部長兼システムインフラ部長 岩崎 磨氏は「新しい一貫したUI・UX、そして自由な働き方のサポートのためには、いままでのアーキテクチャーやインフラの考え方を変えていく必要があります。DXの思考をベースにITは効率よくシンプルにすることが求められ、コスト削減、システム数の削減、セキュリティ強化に注力しなければなりません。」と語る。

ゼロトラスト・モデルを課題解決の柱に

特に同社が課題として挙げたITインフラは老朽化に加え、買収などによってネットワークが複雑化。レガシー機器も多くメンテナンス工数は増加していた。さらに、国内外のセキュリティレベルに差があり、統一化の課題がある。「ユーザー IDはシステムごとにバラバラ、レガシーなBASIC認証が残っている、外出先からのアクセスはVPN経由でシームレスではないなど、などの多くの課題がありました。これらの課題を解決しなければ、DXは絵に描いた餅です。そこで、我々はゼロトラスト・モデルを課題解決の柱としました。」(安井氏)

複雑化・多様化したシステムを利用する企業は、ネットワーク全体を安全に保つコストが増大している。そのため、既存のネットワークは信頼せず、IDを境界とした防御にシフトする考え方がゼロトラスト・モデルだ。

「多くのSaaSは社外からもアクセスできるため、接続拠点が増えます。すると、目が行き届かなくなり、セキュリティが脆弱な拠点も出てきます。すべての拠点が信用のもとにひとつのネットワークに接続されている状態でセキュリティレベルを上げるのは、かなり困

LIXIL

Link to Good Living

Company

株式会社LIXIL

本社 : 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

設立 : 2001年10月

資本金 : 346億円

<https://www.lixil.co.jp/>

Industry

製造業 & 自動車関連事業

Solutions

- Enterprise Application Access (EAA)

Key Impact

- DXを加速させるためのモダンな認証・認可基盤を構築
- 世界中どこからでも社内システムへのシームレスなアクセスをコントロール
- 18万ユーザー、600以上(開発検証含むと1400)のアプリにEAAを展開

<株式会社LIXILについて>

2011年にトステム、INAX、新日軽、サンウエーブ工業、東洋エクステリアの5社が統合して誕生した建築材料・住宅設備機器業界最大手の企業。世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供している。生活者視点に立ち、考え抜いた意味のある製品デザインにこだわり、世界中のあらゆる人々のより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に向けて、さらなる可能性を追求し、責任ある事業成長を推進していく。



難です。働き方が変わり、デバイスの種類も増えている現状では、すべてをひとつにまとめるということは無理なのです。そこでサーバー側、クライアント側、双方のエンドポイントを守り"ネットワークそのものを信用しない"ゼロトラスト・モデルが合理的だと考えました。」(岩崎氏)

18万ユーザーのゼロトラスト・モデルを推進するEAA

しかし、ゼロトラスト・モデルを既存システムの改修で実現するには、莫大なコストと時間がかかる。解決策を思案していたとき、アカマイから紹介されたのがEAA (Enterprise Application Access) だった。

「EAAはユーザーやデバイスの認証・認可に加え、オンプレミスやIaaSに配置したゲートウェイを通じ、社内システムへシームレスにアクセスできるアクセスコントロールソリューションです。セキュリティを高めると利便性が落ちるとよく言われますが、EAAではその両方を高めてくれます。」(安井氏)

「EAAはアカマイのサービス基盤上で動作していることが大きなポイントです。アカマイは世界最大級のネットワークプロバイダーであり、世界中にエッジと呼ばれる分散コンピューティング基盤を有しています。このエッジにエンタープライズグレードの機能を付加することで、インターネットサービスレベルの防御や高速化が可能になっているのです。将来的には大きなシステム改修は必要ですが、EAAを導入したことで当面のシステム改修は必要ありません。」(岩崎氏)

同社は多くのビジネスパートナーとアライアンスを組んでおり、それぞれに情報提供の仕組みがある。そのなかで、2019年4月に立ち上がった日本のビジネスパートナー向けの情報提供サイトにEAAを導入。順調に稼働し始めている。



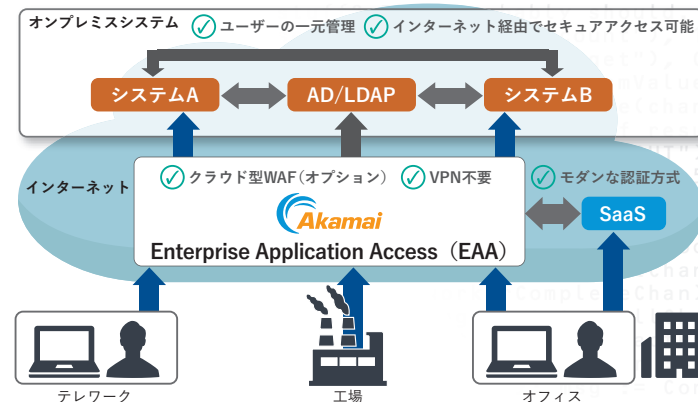
理事 基幹システム統括部 統括部長兼システムインフラ部長 岩崎 磨氏



理事 IT部門 デジタルテクノロジーセンター センター長 情報セキュリティ責任者 安井 卓氏

●LIXILのゼロトラスト・モデルを支えるEAAの役割

- LIXILがEAAを採用した理由
 - モダンで一元的な認証・認可基盤の採用
 - クラウド移行、ゼロトラスト・モデルへの橋渡し
 - アカマイが提供するセキュリティ基盤の活用



「ゼロトラストへの道のりは、ようやくスタートライン立ったばかり。今後は従業員とパートナーを合わせて18万ユーザー、600以上のアプリにEAAを展開する必要があります。もちろん、アカマイのサポートなしでは、この長旅は続けることはできません。長い道のりですが、これからも当社とアカマイで力を合わせて課題を解決し、EAAの展開を完了させる予定です。」(安井氏)

EAAのクライアントソフトを活用

EAA Clientというエージェントアプリも利用している。これは、クライアントOS上の様々なアプリケーションを一元的にEAAサービス経由にすることが可能なアプリだ。例えば、Microsoft Outlookなどが適用対象になる。「EAA Connectorの設定をしておけば、特定ドメインのサービスは自動的にEAA経由でアクセスが可能。これにより、アプリの変更やVPNを必要とせず、シームレスに社内システムにアクセスできます。」(安井氏)

同社が描く最終的な形はすべてがSaaSで利用できること。セキュリティ対策が施されたうえで、すべてがインターネット上に公開され、それらがマイクロサービス型に疎結合して柔軟に連携ができる状態だ。EAAは、現在のレガシーな環境から、その理想形に大きな前進を可能にすると考える同社は、今後もアカマイのソリューションやサポートに大きな期待を寄せている。



アカマイ・テクノロジーズ合同会社 [英文名: Akamai Technologies GK]

email: info_akamai@akamai.com HP: https://www.akamai.com/jp/ja

東京本店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー

Tel: 03-4589-6500

Fax: 03-4589-6501

アカマイについて: Akamai は世界中の企業に安全で快適なデジタル体験を提供しています。Akamai のインテリジェントなエッジプラットフォームは、企業のデータセンターからクラウドプロバイダーのデータセンターまで広範に網羅し、企業とそのビジネスを高速、スマート、そしてセキュアなものにします。マルチクラウドアーキテクチャの力を拡大させる、俊敏性に優れたソリューションを活用して競争優位を確立するため、世界中のトップブランドが Akamai を利用しています。Akamai は、意思決定、アプリケーション、体験を、ユーザーの最も近くで提供すると同時に、攻撃や脅威は遠ざけます。また、エッジセキュリティ、ウェブ/モバイルパフォーマンス、エンタープライズアクセス、ビデオデリバリーによって構成される Akamai のソリューションポートフォリオは、比類のないカスタマーサービスと分析、365 日/24 時間体制のモニタリングによって支えられています。世界中のトップブランドが Akamai を信頼する理由について、www.akamai.com/jp/ja/、blogs.akamai.com/jp/ および Twitter の @Akamai_jp でご紹介しています。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク(本社:米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者: Tom Leighton)が100%出資する日本法人です。アカマイは、ウェブサイト/モバイルアプリの最適化、快適なユーザー体験、堅牢なセキュリティを実現する各種ソリューションを提供しており、日本国内では約600社が当社サービスを利用しています。

©2019 Akamai Technologies, Inc. All Rights Reserved. 書面による明示の許可なく本文書の全体もしくは一部を再製することは禁止されています。Akamai および Akamai の波のロゴは登録商標または商標です。本文書で使用されている他の商標の所有権はそれぞれの所有者に帰属します。アカマイは、本刊行物に掲載の情報がその公表時点において正確であると確信しています。ただし、かかる情報は通知なしに変更されることがあります。本文書の内容は個別の事例に基づくものであり、個々の状況により、変動しうるものです。本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。変更されている可能性があることをご了承ください。発行 2020/05